

菊池広域連合告示第14号

菊池広域連合財政事情の公表

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第1項及び菊池広域連合財政事情公表に関する条例（平成10年菊池広域連合条例第23号）第2条第1項の規定に基づき、菊池広域連合財政事情を別紙のとおり公表する。

令和2年12月1日

菊池広域連合長 荒木 義行

# 菊池広域連合の財政事情

令和2年12月1日公表

## 目 次

まえがき	-----	1
1 令和2年度上半期における一般会計の執行状況	-----	2
2 令和2年度 構成市町負担金の状況	-----	3
3 広域連合財産の状況	-----	4～5
4 令和元年度における一般会計決算の状況	-----	6～13

## ま え が き

ここに公表します「財政事情」は、菊池地域住民の皆様には、広域連合の財政事情をお知らせすることにより、広域連合財政の実態と主要な施策についてご理解をいただき、管内市町の発展についてご理解・ご協力を得るためのものです。

今回は、令和2年度上半期（令和2年4月1日から令和2年9月30日）における一般会計の執行状況、令和元年度における一般会計決算の状況などを主な内容としております。

## 1. 令和2年度上半期における一般会計の執行状況

### 1) 歳入

(単位：千円、%)

予算項目 款名称	当初予算額	補正予算額 流充用額	予算現額	収入済額	収入未済額	収入率
1 分担金及び負担金	2,573,541	0	2,573,541	2,058,833	514,708	80.0
2 使用料及び手数料	31,830	0	31,830	14,378	17,452	45.2
3 国庫支出金	0	0	0	0	0	0.0
4 県支出金	4,528	0	4,528	0	4,528	0.0
5 財産収入	73	0	73	0	73	0.0
6 繰入金	82,000	659	82,659	0	82,659	0.0
7 繰越金	7,000	0	7,000	0	7,000	0.0
8 諸収入	242	0	242	142	100	58.9
9 連合債	152,400	2,200	154,600	0	154,600	0.0
<b>歳入合計</b>	<b>2,851,614</b>	<b>2,859</b>	<b>2,854,473</b>	<b>2,073,353</b>	<b>781,120</b>	<b>72.6</b>

### 2) 歳出（目的別）

(単位：千円、%)

予算項目 款名称	当初予算額	補正予算額 流充用額	予算現額	執行済額	残 額	執行率
1 議会費	2,465	0	2,465	291	2,174	11.8
2 総務費	95,009	2,304	97,313	57,225	40,088	58.8
3 民生費	59,977	0	59,977	49,335	10,642	82.3
4 衛生費	391,420	0	391,420	161,074	230,346	41.2
5 消防費	2,107,947	555	2,108,502	1,065,141	1,043,361	50.5
6 公債費	187,796	0	187,796	79,865	107,931	42.5
7 予備費	7,000	0	7,000	0	7,000	0.0
<b>歳出合計</b>	<b>2,851,614</b>	<b>2,859</b>	<b>2,854,473</b>	<b>1,412,930</b>	<b>1,441,543</b>	<b>49.5</b>

## 2. 令和2年度構成市町負担金の状況

### 1) 市町負担金の状況

(単位：千円、%)

予算項目 市町村	当初予算額	補正予算額	予算現額	収入済額	収入率
菊池市	864,166	0	864,166	691,333	80.0
合志市	694,732	0	694,732	555,786	80.0
大津町	504,652	0	504,652	403,722	80.0
菊陽町	509,991	0	509,991	407,993	80.0
合 計	2,573,541	0	2,573,541	2,058,833	80.0

### 2) 市町負担金の内訳

(単位：千円)

負担金項目 市町名	管理費	介護 保険費	障害者総 合支援費	火葬場費	し尿 処理費	消防費	総 計
菊池市	19,857,000	20,761,000	4,573,000	8,233,000	196,639,000	614,103,000	864,166,000
合志市	23,666,000	16,237,000	4,370,000	9,812,000	33,024,000	607,623,000	694,732,000
大津町	14,364,000	9,573,000	2,307,000	5,955,000	70,139,000	402,314,000	504,652,000
菊陽町	17,175,000	9,440,000	2,543,000	7,121,000	24,332,000	449,380,000	509,991,000
合 計	75,062,000	56,011,000	13,793,000	31,121,000	324,134,000	2,073,420,000	2,573,541,000

### 3. 広域連合財産の状況

#### 1) 土地及び建物

##### (1) 土地（地積）

(単位：㎡)

区 分			R2.4.1	R2.4.1～ R2.9.30	R2.9.30
			現在高	増減高	現在高
公共用財産	その他の施設	火葬場	6,698.50	0.00	6,698.50
		汚泥再生処理センター	11,763.00	0.00	11,763.00
合 計			18,461.50	0.00	18,461.50

##### (2) 建物（延床面積）

(単位：㎡)

区 分			R2.4.1	R2.4.1～ R2.9.30	R2.9.30
			現在高	増減高	現在高
その他の 行政機関	消防 施設	消防本部（南消防署）	1,969.44	0.00	1,969.44
		北消防署	2,241.85	0.00	2,241.85
		西消防署	1,219.96	0.00	1,219.96
		泉ヶ丘消防署	403.64	0.00	403.64
公共用財産	その他の施設	公用車庫	42.00	0.00	42.00
		火葬場	1,628.27	0.00	1,628.27
		汚泥再生処理センター	4,441.81	0.00	4,441.81
合 計			11,946.97	0.00	11,946.97

#### 2) 物品

区 分			R2.4.1	R2.4.1～ R2.9.30	R2.9.30
			現在高	増減高	現在高
車 両	事務局庁用車		3	0	3
	消防本部庁用車		37	0	37
備 品	事務局	ドラフトチャンパー	1	0	1
		遺体保冷库	1	0	1
		発電機	1	0	1
	消防本部	防災エアータント	2	0	2
		高度救急処置シミュレーターⅡ型	1	0	1
		インパルス消火器具	2	0	2
		体力練成器具コンビネーションマシーン	1	0	1
		大型油圧救助器具	1	0	1
		救助器具空気マット（エアーマイティ）v-10v-68	1	0	1
		救助用チタン三連梯子	1	0	1
		大型油圧救助器具3段ストロークラムシリンダー	1	0	1
		熱画像暗視装置	1	0	1
		救急患者監視モニター1式	1	0	1
		高機能消防指令システム機器一式	1	0	1
		アルミ製三連はしご	1	0	1
		高度救命処置用訓練人形 （レサシアンシミュレーター・Simpad）	2	0	2
		自動体外式除細動器一式	2	0	2
		消防救急デジタル無線設備一式	1	0	1
		空気充填用高圧コンプレッサー一式	1	0	1
		合 計			63

## 3) 債権

(単位：千円)

区 分		R2. 4. 1	R2. 4. 1 ~ R2. 9. 30	R2. 9. 30
		現在高	増減高	現在高
貸付金		0	0	0
合 計		0	0	0

## 4) 基金

(単位：千円)

区 分		R2. 4. 1	R2. 4. 1 ~ R2. 9. 30	R2. 9. 30
		現在高	増減高	現在高
財政調整基金		218,956	0	218,956
合 計		218,956	0	218,956

## 5) 公債残高

(単位：千円)

区 分			R2. 4. 1	R2. 4. 1 ~ R2. 9. 30	R2. 9. 30
			現在高	増減高	現在高
連 合 債	事務局		38,897	-35,760	3,137
	消防本部		665,294	-71,256	594,038
合 計			704,191	-107,016	597,175

## 6) 一時借入金残高

(単位：千円)

区 分		R2. 4. 1	R2. 4. 1 ~ R2. 9. 30	R2. 9. 30
		現在高	増減高	現在高
一時借入金残高		0	0	0
合 計		0	0	0



# 令和元年度 菊池広域連合一般会計決算概要

## 1. 決算の状況

令和元年度決算は、歳入総額が26億3千669万円、歳出総額が25億9千449万7千円であり、前年度に比べ、歳入総額で5.8%の増、歳出総額で6.1%の増となりました。

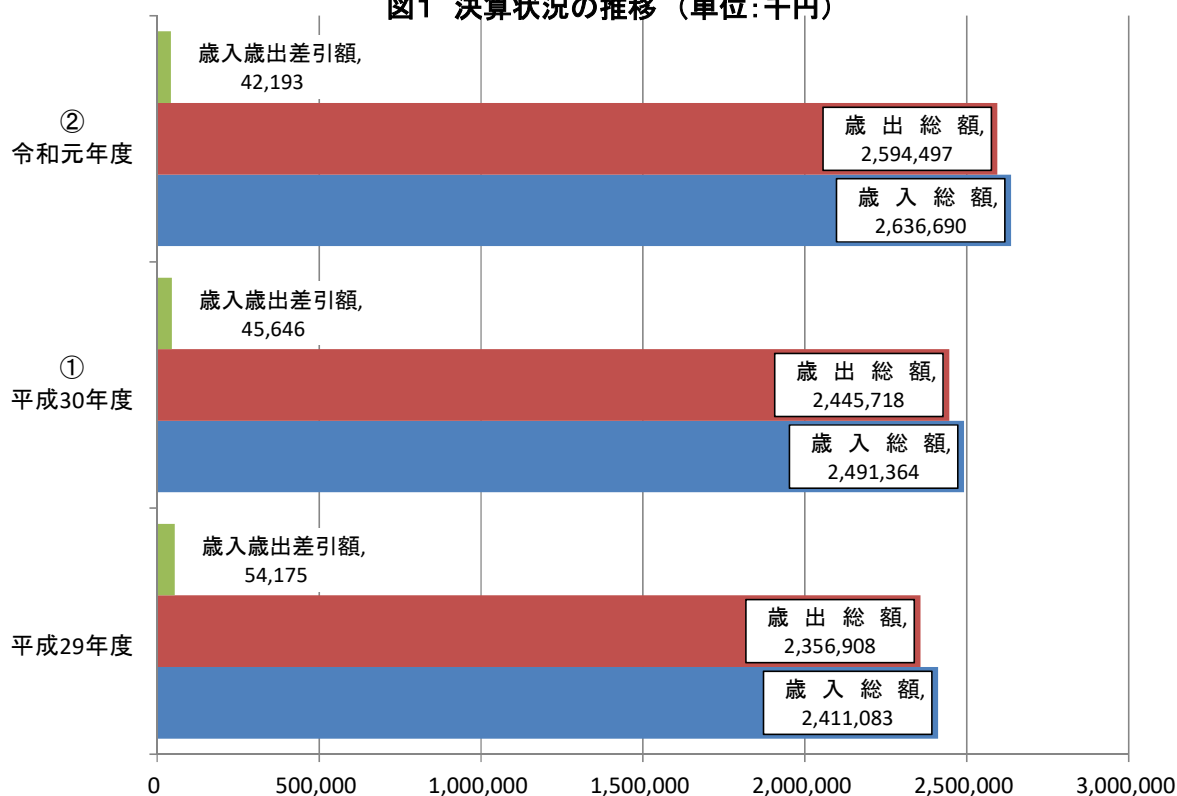
なお、歳入総額から歳出総額を引いた歳入歳出差引額(形式収支)は、4千219万3千円で前年度から345万3千円減少しております。

平成29年度から令和元年度の決算状況の推移は、以下のとおりです。

(単位:千円・%)

項目	決算額			前年度比較	
	平成29年度	① 平成30年度	② 令和元年度	③=②-① 前年度比較額	③/① 増減比
歳入総額	2,411,083	2,491,364	2,636,690	145,326	5.8
歳出総額	2,356,908	2,445,718	2,594,497	148,779	6.1
歳入歳出差引額	54,175	45,646	42,193	△ 3,453	△ 7.6
翌年度へ繰越すべき財源	0	0	0	0	0.0
実質収支	54,175	45,646	42,193	△ 3,453	△ 7.6
単年度収支	△ 11,740	△ 8,529	△ 3,453	5,076	59.5
実質単年度収支	△ 96,524	△ 51,045	△ 67,247	△ 16,202	△ 31.7

図1 決算状況の推移 (単位:千円)



### ※用語の解説

「実質収支」………収支(歳入歳出差引額)から事業繰越等に伴い翌年度に繰越すべき財源を差引いた額である。

\* 実質収支 = 形式収支 - 翌年度へ繰越すべき財源

「単年度収支」………当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差引いた額であり、当該年度のみの実質的な収入と支出の差額を意味する。

\* 単年度収支 = 当該年度の実質収支 - 前年度の実質収支

「実質単年度収支」…単年度収支に、当該年度に措置された黒字要素(財政調整基金積立金、繰上償還)又は、赤字要素(積立金取崩し)を除外した場合、単年度収支が実質的にどのようになったかを検証するものである。

\* 実質単年度収支 = 単年度収支 + 財政調整基金積立額 + 地方債繰上償還額 - 財政調整基金取崩し額

## 2. 歳入の状況

前年度と比較すると、分担金負担金が1億2千436万6千円の増、主な要因は、消防費の人件費及び高機能消防指令施設部分更新工事費の増によるものです。使用料及び手数料が216万1千円の減、主な要因は、火葬場使用料及び消防費手数料の減によるものです。県支出金が240万6千円の減、主な要因は、県に派遣している消防職員の人件費の減によるものです。財産収入は、財政調整基金利子1万5千円の増、繰入金が2千129万3千円の増、主な要因は、消防費の人件費、消防施設改修及び車両更新費の増によるものです。繰越金は、増減なし。諸収入が1千628万1千円の減、主な要因は空港環境整備協会助成金の廃止によるものです。連合債は、消防車両の更新による2千50万円の増です。

平成29年度から令和元年度の歳入決算の状況及び構成比の推移は、以下のとおりです。

### 歳入決算の状況

(単位:千円・%)

年度 項目	決算額			前年度比較	
	平成29年度	①平成30年度	②令和元年度	③=②-① 前年度比較額	③/① 増減比
分担金負担金	2,180,155	2,307,450	2,431,816	124,366	5.4
使用料及び手数料	32,465	33,382	31,221	△ 2,161	△ 6.5
国庫支出金	0	0	0	0	0.0
県支出金	7,073	7,212	4,806	△ 2,406	△ 33.4
財産収入	155	99	114	15	15.2
繰入金	84,937	42,615	63,908	21,293	50.0
繰越金	22,440	7,000	7,000	0	0.0
諸収入	6,558	17,606	1,325	△ 16,281	△ 92.5
連合債	77,300	76,000	96,500	20,500	27.0
合計	2,411,083	2,491,364	2,636,690	145,326	5.8

#### ※用語の解説

分担金負担金 … 菊池広域連合を構成する市町(菊池市、合志市、大津町、菊陽町)からの負担金。菊池広域連合規約で事業ごとに負担割合を定めており、本連合の運営費の大半に充てられている。

使用料及び手数料 … 火葬場使用料、消防費手数料、行政財産使用料で構成される。うち、火葬場使用料と危険物施設許認可手数料で構成比の大半を占める。

国庫支出金 … 国からの負担金、補助金等。(令和元年度については、該当なし。)

県支出金 … 県からの負担金、補助金等。防災消防航空隊派遣職員の人件費及び県事務移譲交付金。

財産収入 … 財産運用収入(基金の運用に伴う利子。)

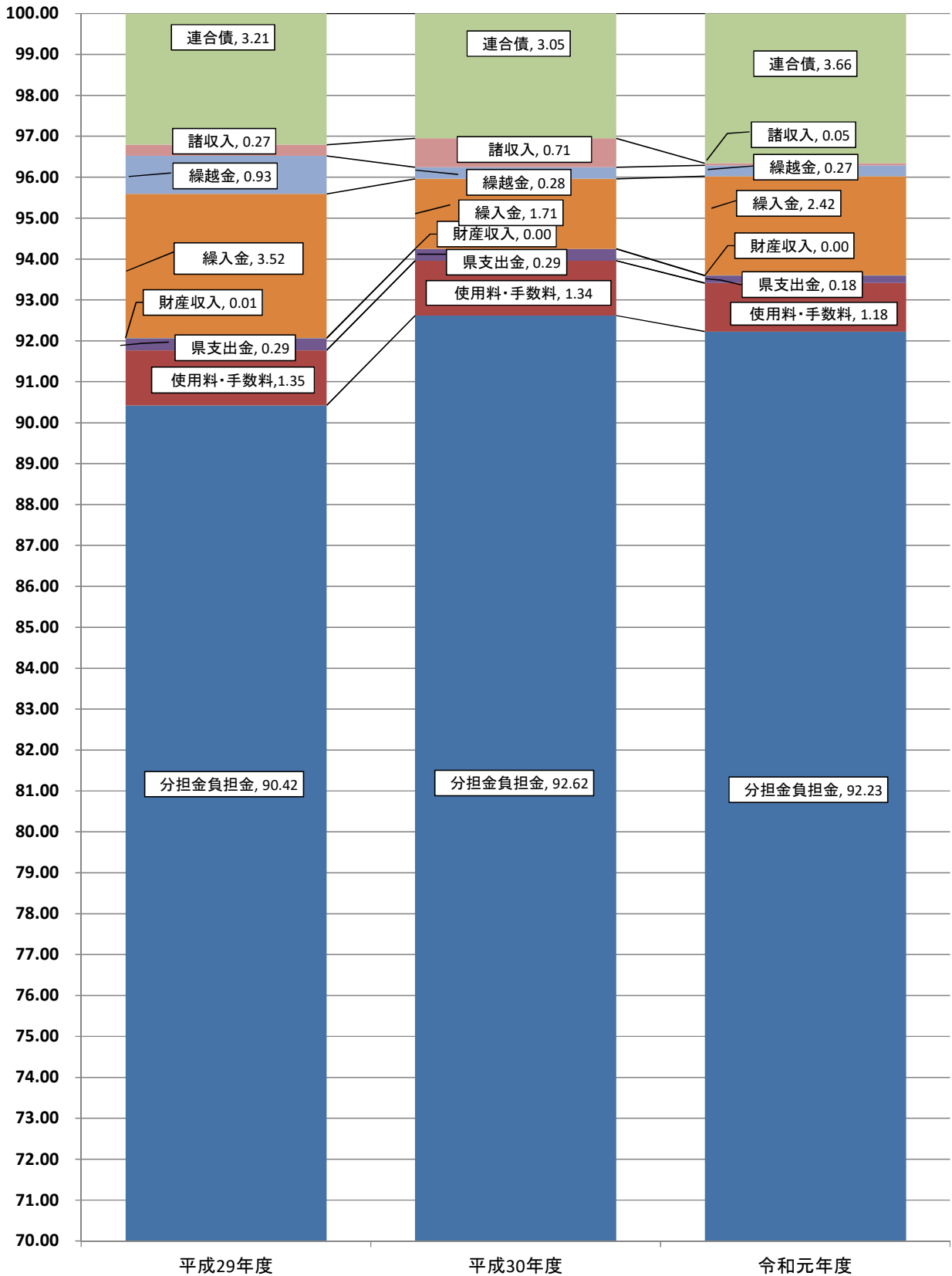
繰入金 … 基金繰入金(基金の取崩に伴う繰入金。単年度における構成市町の負担金が大幅に増加しないよう調整している。)

繰越金 … 前年度から繰り越された額。純繰越金と繰越明許費に充当する繰越金がある。(令和元年度については、該当なし。)

諸収入 … 雑入等(他の歳入科目の区分に該当しないすべての収入。)

連合債 … 特定の事業費等の財源に充てるため起こした連合債の収入額。

図2 歳入決算構成比の推移(単位:%)



### 3-1. 歳出の状況(目的別)

目的別に前年度比でみた増減の主な要因は、議会費については、170万2千円の増で、正副連合長・議会議員合同研修(隔年実施)旅費の増によるものです。総務費については、533万1千円の増で、財務会計等業務運用機器の入替及び洒水支所改修に伴う事務所移転経費等の増によるものです。民生費については、196万5千円の減で、介護審査会委員報酬・費用弁償及び派遣職員負担金の減によるものです。衛生費については、426万1千円の減で、火葬場改修工事費の減によるものです。消防費については、1億6千581万6千円の増で、人件費、梯子車のオーバーホール及び高機能消防指令施設部分更新工事費の増によるものです。公債費については、1千784万4千円の減で、平成22・23年度借入分の消防施設改修及び消防車両購入に係る起債の償還を終えたことによるものです。

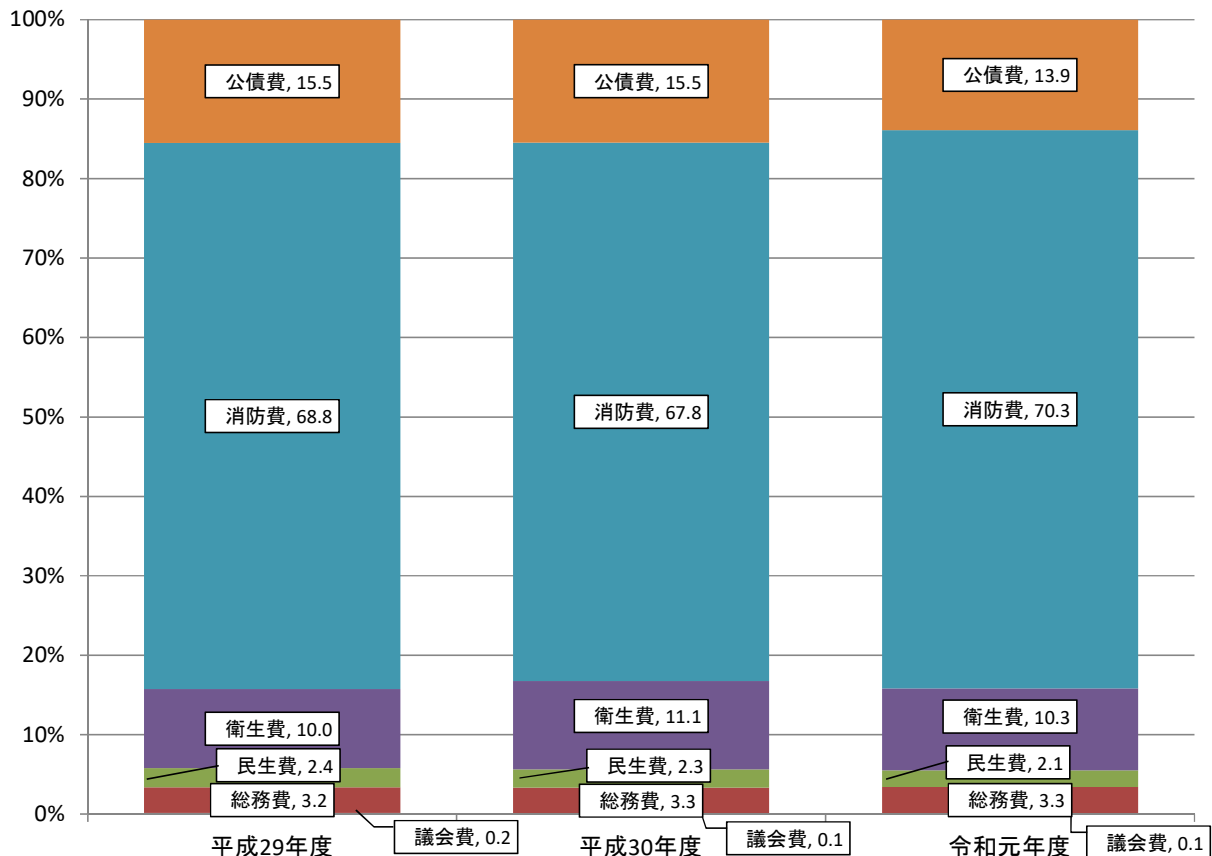
平成29年度から令和元年度の目的別歳出決算の状況及び構成比の推移は、以下のとおりです。

#### 目的別歳出決算の状況

(単位:千円・%)

項目	決算額			前年度比較	
	平成29年度	① 平成30年度	② 令和元年度	③=②-① 前年度比較額	③/① 増減比
議会費	3,576	1,619	3,321	1,702	105.1
総務費	76,311	79,918	85,249	5,331	6.7
民生費	56,163	55,979	54,014	△ 1,965	△ 3.5
衛生費	234,560	272,373	268,112	△ 4,261	△ 1.6
消防費	1,620,770	1,657,242	1,823,058	165,816	10.0
公債費	365,528	378,587	360,743	△ 17,844	△ 4.7
予備費	0	0	0	0	0.0
合計	2,356,908	2,445,718	2,594,497	148,779	6.1

図3 目的別歳出決算の構成比の推移(単位:%)



### 3-2. 歳出の状況(性質別)

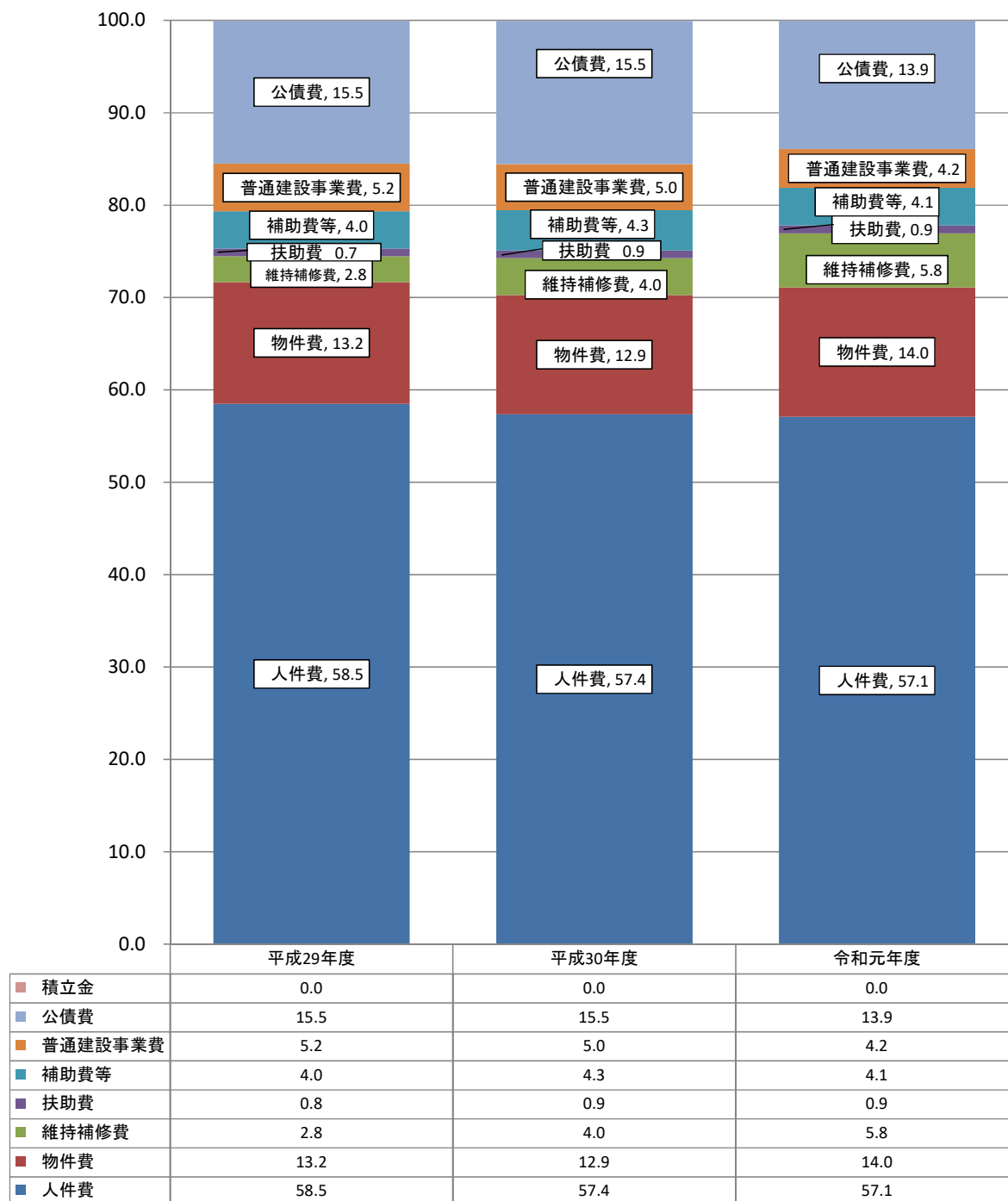
性質別に前年度比でみた増減の主な要因は、人件費については、7千817万9千円の増で、消防職員の人員増及び給与改定によるものです。物件費については、4千876万7千円の増で、梯子車のオーバーホールによるものです。維持補修費については、5千177万1千円の増で、高機能消防指令施設部分更新によるものです。扶助費については、140万円の増で、児童手当の増によるものです。補助費等については、84万6千円の減で、熊本県消防学校入校負担金の減によるものです。普通建設事業費については、1千266万3千円の減で、消防車両購入の減によるものです。公債費については、1千784万4千円の減で、平成22・23年度借入分の消防施設改修及び消防車両購入に係る起債の償還を終えたことによるものです。積立金については、1万5千円の増で、利率見直しによるものです。

平成29年度から令和元年度の性質別歳出決算の状況及び構成比の推移は、以下のとおりです。

(単位:千円・%)

年度 項目	決算額			前年度比較	
	平成29年度	① 平成30年度	② 令和元年度	前年度比較額 ③=②-①	増減比 ③/①
人件費	1,379,072	1,403,334	1,481,513	78,179	5.6
物件費	310,169	314,537	363,304	48,767	15.5
維持補修費	66,334	99,575	151,346	51,771	52.0
扶助費	19,390	21,045	22,445	1,400	6.7
補助費等	94,382	106,279	105,433	△ 846	△ 0.8
普通建設事業費	121,878	122,262	109,599	△ 12,663	△ 10.4
公債費	365,528	378,587	360,743	△ 17,844	△ 4.7
積立金	155	99	114	15	15.2
合計	2,356,908	2,445,718	2,594,497	148,779	6.1

図4 性質別歳出決算の構成比の推移(単位:%)



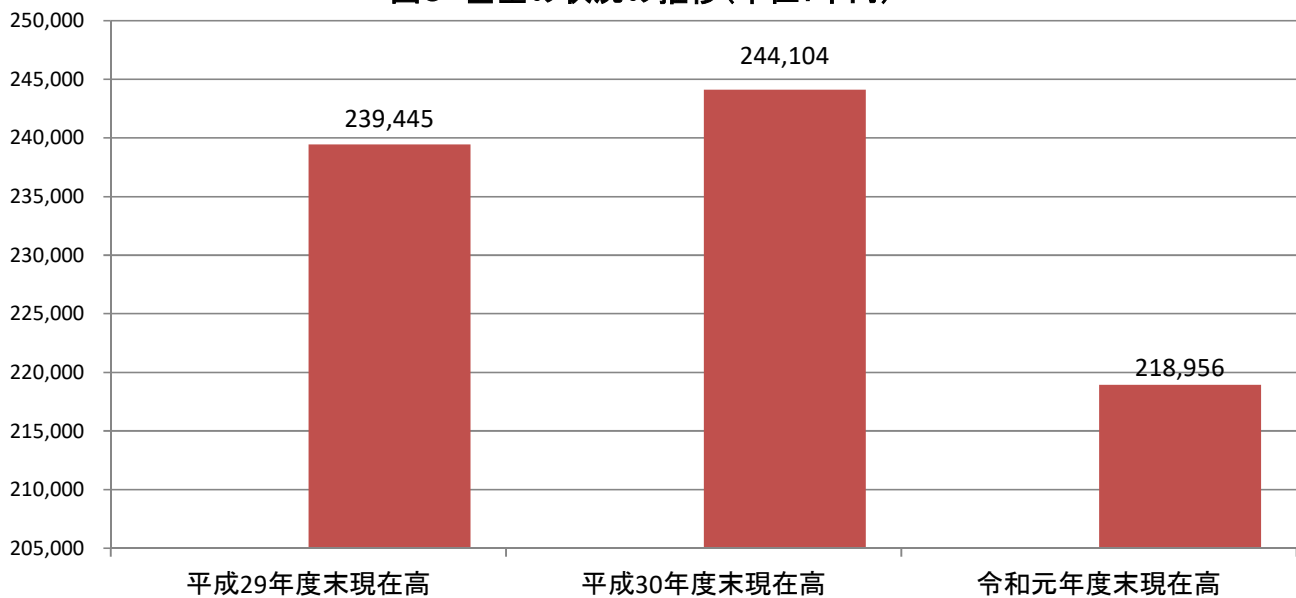
#### 4. 基金の状況

構成市町からの負担金を軽減するため、令和元年度は6千390万8千円を財政調整基金から繰入れました。その結果、財政調整基金の令和元年度末残高は、2億1千895万6千円となりました。なお、基金の状況の推移及び用途別の基金内訳は以下のとおりです。

(単位:千円)

基金の名称	設置の目的	平成29年度末 現在高	平成30年度末 現在高 A	令和元年度			令和元年度末 現在高 A+B-C+D
				歳出決算額 B	取崩・繰出 C	歳計剰余金処分 D	
財政調整基金	財源の調整	239,445	244,104	114	63,908	38,646	218,956

図5 基金の状況の推移(単位:千円)



#### 用途別の基金内訳

項目	令和元年度末基金高
管理費等	4,507,584円
職員研修費	1,685,677円
介護保険費	863,072円
障害者福祉費	290,874円
火葬場費	45,236,307円
し尿処理費	105,990,057円
消防費	60,382,153円
合計	218,955,724円

## 5. 連合債の状況

連合債残高は、令和元年度に新規発行を2件(9千650万円)行い、令和元年度末残高は前年比2億5千971万円の減で、7億419万1千円になっています。

内訳は、消防費の災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車整備事業、災害対応特殊救急自動車整備事業で緊急防災・減災事業債の借入を行いました。

連合債の利率別の構成比は、0.5%以下が94.5%、0.5%超～1.5%以下が4.9%、1.5%超～2.0%以下が0.6%です。

年度毎の連合債の状況と令和元年度末現在高の利率別の構成比は、以下のとおりです。

(単位:千円)

起債区分	平成29年度末 現在高	平成30年度末 現在高 A	令和元年度 発行額 B	令和元年度元利償還額			令和元年度末 現在高 E=A+B-C
				元金 C	利子 D	合計 D	
一般廃棄物処理事業債	405,705	220,761		187,674	2,546	190,220	33,087
財源対策債	65,553	35,900		30,090	415	30,505	5,810
一般単独事業債	92,144	131,230		21,114	254	21,368	110,116
一般補助施設整備事業債	46,330	20,504		5,124	77	5,201	15,380
施設整備事業債(一般財源化分)	87,416	80,096		16,454	138	16,592	63,642
都道府県貸付金等	63,000	56,000		7,000	0	7,000	49,000
緊急防災・減災事業債	498,032	419,410	96,500	88,754	1,103	89,857	427,156
合計	1,258,180	963,901	96,500	356,210	4,533	360,743	704,191

### 令和元年度末現在高の利率別構成比

